

令和3年度 学校図書館評価シート

足立区立舎人小学校 校長 大塚信明

1 学校図書館の現状（今年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 11,656 冊（蔵書基準冊数 10,360 冊）／ 蔵書率 112.5%（前年度 110.5%）									
	② 新規購入図書 529 冊 ／ 廃棄図書 361 冊 ／ 増減冊数 168 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学8類
蔵書構成割合	1%	1%	7%	6%	11%	4%	3%	6%	3%	58%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：8：45～15：00（前年度からの変更 なし）									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 38.1 冊（前年度：29.48 冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 82%（前年度：86 冊）									

2 学校図書館基本計画「学校図書館の目標・ねらい」の達成状況（今年度総括）

- ①新型コロナウイルス感染症の影響により、学校図書の貸出日数は減ったが、読書週間の活動や図書支援員による図書の環境づくりを行うことによって、全体の貸出冊数は増え、1人1人が読書に親しむ児童が増えた。
- ②今年度は図書支援員による読み語りやブックトークを行う時間を設けることによって、児童が様々な本に親しむ環境作りを行った。
- ③今年度は、学級図書の環境を整え、児童の読書に対する意欲を高める工夫を行った。

3 今年度の重点指導事項・具体的取り組み、及び成果目標の達成状況

第1学年	①学校図書館の正しい利用の仕方を知り、ルールを守って活用する態度を育てる。 ②読み物に興味をもち、読書を楽しむ態度を育てる。	
今年度の成果目標		達成基準
①学校図書館の利用方法を授業で学び、知ることができる。 ②学校図書館を利用し、本を借りて読書することができる。 ③担任や図書支援員、ボランティアの方の読み聞かせを楽しむ。		①学校図書館オリエンテーションを4月に必ず行う。 ②1週間に1度、学校図書館を利用した授業を行う。 ③土曜授業や学校図書館を利用する日は、読み聞かせを行う。
目標達成状況		
①4月にオリエンテーションの実施率は100%達成した。どの学年も図書室のルールの周知を図った。 ②1週間に1度、図書の時間を確保し、授業を行うことができた。校内で行っている読書量調査では、年間50冊の目標に対し、全体で70%達成した。 ③ボランティアによる読み聞かせはできなかったが、担任や図書支援員による読み聞かせを行った。		

第2学年	①学校図書館の利用の仕方を確認し、ルールを守って活用する態度を育てる。 ②いろいろな読み物に興味をもち、楽しんで読書しようとする態度を育てる。	
今年度の成果目標		達成基準
①学校図書館の利用の仕方を確認し、ルールを守って活用することができる。 ②自分の興味のある本を探して、読書することができる。 ③担任や図書支援員、ボランティアの方の読み聞かせを楽しむ。		①学校図書館オリエンテーションを4月に必ず行う。 ②1週間に1度、学校図書館を利用した授業を行う。 ③土曜授業や学校図書館を利用する際は、読み聞かせを行う。
目標達成状況		
①4月にオリエンテーションの実施率は100%達成した。また、1週間に1度、図書の時間を確保し、授業を行うことができた。 ②読書旬間は今年度2度行い、その月には貸出冊数が増加した。校内で行っている読書量調査では、目標値年間50冊を学年全体で86%の児童が達成した。 ③週1回の図書の時間では、図書支援員による読み聞かせを行った。		
第3学年	①いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ②学校図書館の利用の仕方を確認し、資料や情報を集めて活用できる力を育てる。	
今年度の成果目標		達成基準
①自分の興味がある本だけでなく学習に関連する本についても読み、分かったことをまとめることができる。 ②学校図書館の利用の仕方を確認し、ルールを守って活用することができる。		①学習に関係する本を探したり、読んだりするために、1週間に1度学校図書館を利用した授業を行う。 ②学校図書館オリエンテーションを4月に必ず行う。
目標達成状況		
①1週間1度図書の時間を確保し、授業に関する本について調べることができた。校内で行っている読書量調査目標値年間50冊を学年全体で81%の児童が達成をした。 ②4月にオリエンテーションの実施率は100%達成した。図書室の利用の仕方を行った。		
第4学年	①いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ②学校図書館の利用の仕方を確認し、資料や情報を集めて活用できる力を育てる。	
今年度の成果目標		達成基準
①自分の興味がある本だけでなく学習に関連する本についても読み、図鑑や辞書から分かったことをまとめることができる。 ②学校図書館の利用の仕方を確認し、ルールを守って活用することができる。		①学習に関係する本を探したり、読んだりするために、1週間に1度学校図書館を利用した授業を行う。 ②学校図書館オリエンテーションを4月に必ず行う。
目標達成状況		
①1週間に1度、図書の時間や調べ学習で、学校図書を利用した授業を行うことができた。校内で行っている読書量調査では目標年間5000ページを学年全体で79%の児童が達成をした。 ②4月にオリエンテーションの実施率は100%達成した。図書室のルールを確認した。		

第5学年	①適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を育てる。 資料や情報を集めて活用し、新聞やレポート、ポスターセッションなどで表現できる力を育てる。 ②学校図書館の利用の仕方を確認し、ルールを守って活用することができる。
今年度の成果目標	達成基準
①調べたいことがらについて適切な本や新聞から記事を選び、読むことができる。 ②複数の本や新聞からわかったことをまとめ、自分の考えを深めることができる。 ③学校図書館の利用の仕方を確認し、ルールを守って活用することができる。	①学習に関係する本を探したり、読んだりするために、1週間に1度学校図書館を利用した授業を行う。 ②資料や情報を集めて活用した作品を作成する。 ③学校図書館オリエンテーションを4月に必ず行う。
目標達成状況	
①1週間に1度、図書の時間や調べ学習で、学校図書館を利用した授業を行うことができた。校内で行っている読書量調査では目標年間5000ページを学年全体で62%の児童が達成をした。 ②国語や社会、総合的な学習の時間に、新聞やパンフレットを作る際に活用した。 ③4月にオリエンテーションの実施率は100%達成した。図書室のルールの確認をした。	

第6学年	①適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を育てる。 ②資料や情報を集めて活用し、新聞やレポート、ポスターセッションなどで表現できる力を育てる。 ③学校図書館の利用の仕方を確認し、ルールを守って活用することができる。
今年度の成果目標	達成基準
①調べたい事柄について適切な本や新聞などを選び、読書することができる。 ②複数の本や新聞からわかったことをまとめ、自分の考えを深めることができる。 ③学校図書館の利用の仕方を確認し、ルールを守って活用することができる。	①学習に関係する本を探したり、読んだりするために、1週間に1度学校図書館を利用した授業を行う。 ②資料や情報を集めて活用した作品を作成する。 ③学校図書館オリエンテーションを4月に必ず行う。
目標達成状況	
①1週間に1度、図書の時間や調べ学習で、学校図書館を利用した授業を行うことができた。校内で行っている読書量調査では、目標年間5000ページを学年全体で79%の児童が達成をした。 ②社会や総合的な学習の時間に、スライドやパンフレットを作るのに、活用した。 ③4月にオリエンテーションの実施率は100%達成した。学校図書のルールの確認をした。	

4 学校図書館環境整備に関する取り組み成果・効果

【蔵書・配架等に関すること】

- ・今年度は社会3類・4類の本を中心に本を購入し、蔵書を増やした。

【学校図書館支援員との連携・協働】

- ・コロナ禍でも安全に学校図書館を利用できるよう、環境整備・休み時間の貸し出しについて打ち合わせし、実施することができた。

【その他】

- ・年度末の貸し出し返却率は100%を達成した。

5 学校図書館運営に関する全体評価（自己評価）

- ・今年度も1人あたりの貸し出し可能冊数を2冊に増やしたことで、児童一人あたりの年間平均貸出冊数が増えた。
- ・コロナ禍で休み時間の貸し出しや委員会活動が制限されたが、図書委員会によるMeetを使っの本の読み聞かせや学校図書館支援員による低学年の児童への読み聞かせなど、できる活動を考えながら読書推進に取り組むことができた。

6 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（外部評価）

今年度、コロナ禍により図書ボランティアの活動ができなかったもので、来年度は行いたい。調べる学習コンクール等を有効に活用し、図書の利活用に力を入れたい。

7 今後の展望 一課題や問題点への改善・対応方針を踏まえて一

読書をしない児童の興味を高めるために、学校図書館を活用した授業を次年度は多く実施していきたい。また学校図書資料の整理や更新及び図書室館内の展示や掲示の充実を図る。

調べ学習の本を探す際、学校図書館支援員に相談する児童が多かったので、3年生以上の年度初めのオリエンテーションでは、調べ学習の本の探し方について取り上げる。

貸出状況を確認すると、児童の借りる本に偏りがあることが分かった。来年度は2・3・4類の本にも興味を持ってもらえるように、図書支援員と協力して環境を整えていく。

来年度は、各学年の学習との並行図書を意識し、図書室に各学年の学習スペースを設置する。学習に関連した図書にたくさん触れることで、読慮への意欲を高めていく。また、足りていない分野を確認し、計画的に蔵書を増やしていく。